

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_V1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)岩塚物流施設新築工事	階数	地上4F
建設地	愛知県名古屋市	構造	S造
用途地域	準工業地域、第一種住居地域	平均居住人員	450 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,650 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2025年6月 予定	評価の実施日	2025年5月23日
敷地面積	40,013 m ²	作成者	清水建設㈱名古屋支店一級建築士事務所
建築面積	25,417 m ²	確認日	2025年5月23日
延床面積	80,824 m ²	確認者	清水建設㈱名古屋支店一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算: ①参照値 100%, ②建築物の取組み 79%, ③上記+②以外の 79%, ④上記+ 79%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 4.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	施設利用者の利便性および環境にやさしい施設づくりに配慮している。	その他 なし
Q1 室内環境	評価対象外	Q2 サービス性能 階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。補修必要間隔の長い外壁材、仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。
LR1 エネルギー	LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 防犯カメラの設置など防犯性に配慮している。緑地を設けることにより良好な景観を形成している。
	LR2 資源・マテリアル 自動水栓などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。また、OAフロアを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	LR3 敷地外環境 LCCO2排出量を参照値より抑制するなど、地球温暖化への配慮をしている。燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。適切な量(施工希望)の駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮、管理用車両・荷捌き車両の駐車施設を確保するなど交通負荷の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される